



与謝野町

第9号

平成20年7月25日

議会だより

あじさい祭り
(金屋地区)



主な記事

新しい議会構成	2~3p
議長あいさつ	4p
人事案件(お世話になります)	9p
ここが聞きたい(一般質問)	10p
用語の解説	17p

表紙写真を募集します

町内でのイベントの様子や、日々の町の様子など、あなたの写真で議会だよりの表紙を飾ってみませんか?

●応募方法 撮影した写真データを電子メールでお送りください。 ●応募先 gikai@town.yosano.lg.jp

新しい与謝野町議会 議場内配置図

 書記 植松ひろ子	 会計室長 金谷肇	 住民環境課長 永島洋視	 議会事務局長 奥野稔	 議長 森本敏軌	 福祉課長 佐賀義之	 保健課長 泉谷貞行	 水道課長 芋田政志	 下水道課長 小西忠一
-----------------	-----------------	--------------------	-------------------	----------------	------------------	------------------	------------------	-------------------

 税務課長 日高勝典	 加悦地域振興課長 和田茂	 野田川地域振興課長 平野勝彦	 岩滝地域振興課長 藤原清隆
------------------	---------------------	-----------------------	----------------------

 教育次長 鈴木雅之	 教育推進課長 土田清司	 農林課長 浪江学	 商工観光課長 太田明
------------------	--------------------	-----------------	-------------------

 企画財政課長 吉田伸吾	 総務課長 大下修	 副町長 堀口卓也	 町長 太田貴美
--------------------	-----------------	-----------------	----------------

演壇

 教育委員長 白杉直久	 教育長 垣中均	 代表監査委員 足立正人	 建設課長 西原正樹
-------------------	----------------	--------------------	------------------

質問席

 6 家城 功	 5 小林庸夫
------------	------------

 4 廣野安樹	 3 上山光正
------------	------------

 2 畠山伸枝	 1 野村生八
------------	------------

 12 多田正成	 11 勢簾 毅
-------------	-------------

 10 糸井満雄	 9 井田義之
-------------	------------

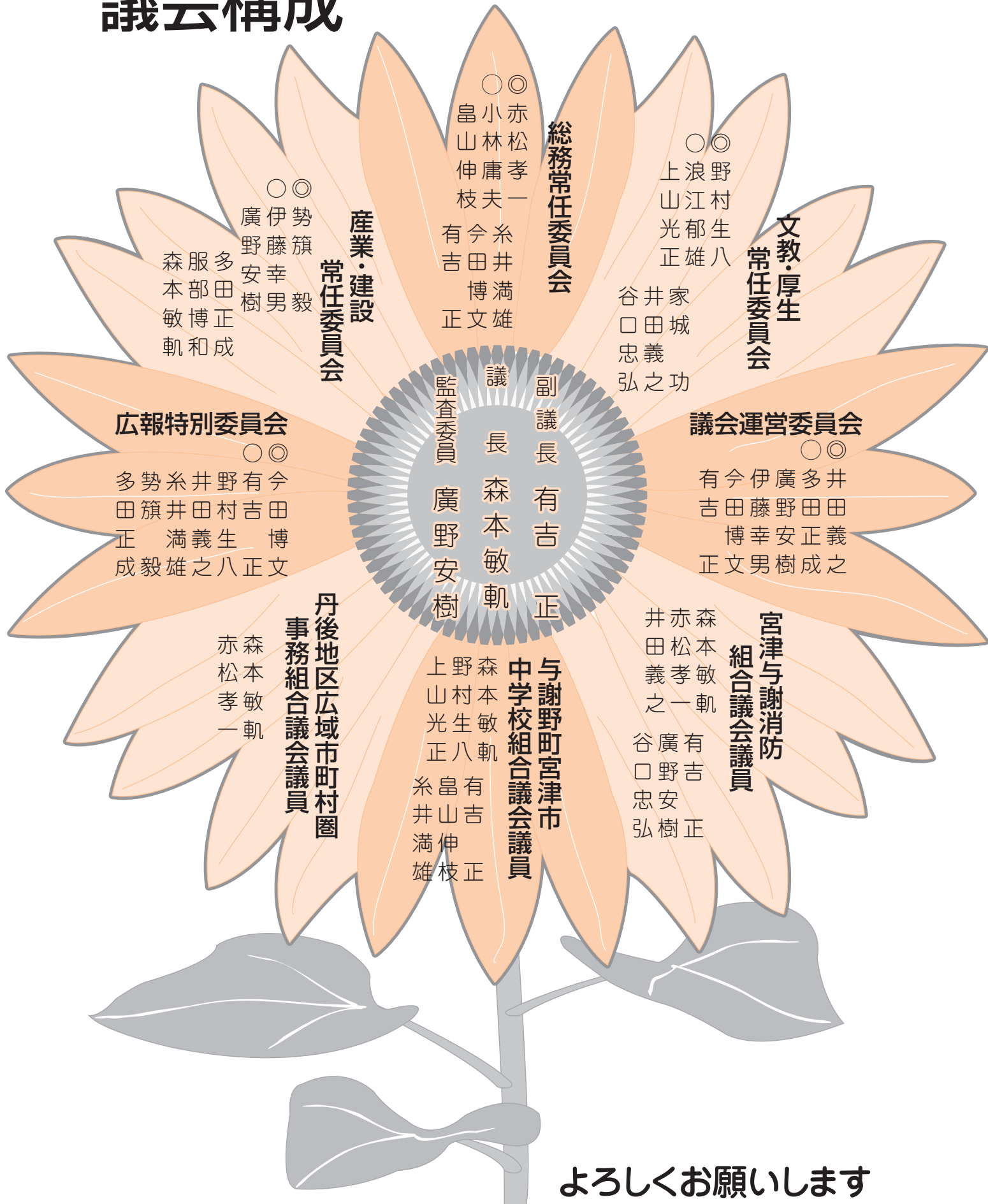
 8 浪江郁雄	 7 伊藤幸男
------------	------------

議長 18 森本敏軌	 17 有吉 正
---------------	-------------

 16 服部博和	 15 赤松孝一
-------------	-------------

 14 谷口忠弘	 13 今田博文
-------------	-------------

議会構成



よろしくお願ひします



持続可能な与謝野町を目指し

議長 森本 敏軌

日ごとに暑さが厳しくなってまいりましたが、町民の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る、5月臨時会において、議会申し合わせ事項により役員改選が行われ、不肖私を議長に選任いただき、光栄に存じますと共にその責務の重大さをひしひしと感じております。

与謝野町も合併して早や3年目を迎え、私たち議員の任期も

あと2年となりました。この間、旧町の諸団体も合併が図られるなど、垣根が少しずつ取り払われ、また、町の歌、町の花、木も選定されるなど、一体感の醸成が少しずつ育まれてきました。今後一層一体感と均衡あるまちづくりを推し進めていかなければなりません。

本年は、昨年示されました行政改革大綱や、策定されました総合計画の遂行元年として、絵に描いた餅にならないよう、目標に向かって安心安全で持続可能な与謝野町への第一歩を踏み出したと認識いたしております。

町の経済状況も一層厳しい状況にあるなか、町民の皆様の二

ーズも多様化するなど、課題は山積しており、町民の皆様の期待に応えられ、また、将来を担う子どもたちが安心して住める町を目指し、議会と行政が車の両輪のごとく、後退することのないよう前進させなければなりません。

議会と致しましても、緊張感を保ちながら公正で開かれた議会として、その役割が果たせますよう活発な議会運営に努めて参ります。

今後とも町民の皆様の一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。ご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。

臨時会 (平成20年5月7日)

道路特定財源をどう考えているのか

伊藤 幸男 議員

問 町長は他の首長と、特定財源制度維持を街頭宣伝で訴えた。同制度には莫大なムダ使いがある。
町長 同制度の維持でなく、町の道路財源の確保を求めたものだ。



当町では府道町道まだまだ必要

議会構成が新しく

申し合わせ（2年）により構成替えが行われた。

（前3ページに掲載）

専決処分（補正予算）

○19年度一般会計

○19年度特別会計

（簡易水道など）議案）

質疑 服部、上山、井田、

勢旗、谷口、伊藤、

赤松

遅れている地籍調査

勢旗 毅 議員

問 当初30万円の委託料の予算が、大きく減額となっている。なぜこのような執行になったのかをお伺いしたい。

建設課長 旧加悦町温江地区内で事業を進めているが、相続人が不明等の土地があり、裁判所への申立等で時間を要することから、20年度に繰り延べしたものだ。

問 桑飼地区全体ではまだ相当かかることと、一般常識から考えてもこれだけ遅延すると、行政に対する考えも変わってくるのではと思える。
建設課長 温江地区は3工区で1工区は完了しているので、この工区については閲覧が可能となっている。

6月議会のおようす

6月議会では、平成20年度一般会計補正予算と介護保険・老人保健特別会計補正予算などの計6議案、人事案件7議案、条例案件3議案、契約案件4議案、その他町道認定・財産の取得の2議案が提案され、すべて全員賛成で可決された。また、19年度一般会計と簡易水道・下水道・農業集落排水特別会計の計4件の繰越明許費繰越計算書の報告に対し、質疑を行った。

一般質問は、14議員が町政全般について町長、副町長、教育長の見解を求めた。

一般会計補正予算

遊休資産の売却予定は

勢 旗 毅 議員

問 不動産鑑定を要す売却可能な物件は、総務課長 9カ所10物件を予定している。



遊休地を活かせ



原油高により物価高騰

原油高騰対策の支援を

野村生八 議員

問 新たに、農業者団体への支援のため、府の事業が取り組まれる。内容と対象農家を広げることはできないか。

農林課長 農業法人・団体が対象で農業資材の購入、販売促進、省エネルギー型の農業機械の購入に補助をするもの。個人への補助は、資金の貸付以外は難しい。

生活実態調査の実施を

問 農業以外でも、原油の高騰や物価の値上げで業者や町民は苦しんでいる。町では、福祉灯油をいち早く取り組まれた。たとえば、府で障害者施設への支援が打ち出されている。今後も、あらゆる分野での原油高騰・物価の値上げに苦しむ業者や町民に、積極的な支援を求める。

そのためには、町民や業者の暮らしと経営の実態調査が、今必要ではないか。

町長 やりたいの思いはあるが、できるかどうか検討したい。

悪臭対策の行政の役割分担は

伊藤 幸男 議員

問 温江プラテックの悪臭等の問題は基本的には未解決とのこと。府と町の法的な役割分担は。

住民環境課長 産廃や大気汚染、工場排水は府。一般廃棄物、臭気・騒音・振動・煤塵は町。

高金利相談の

窓口開設

問 多発している高金利借金の被害者の相談窓口を始めると聞か。

住民環境課長 司法書士会との連携で相談事業を行うことにした。



業者が減少の中 除雪対策が

除雪対策等 地元業者への配慮必要

井田 義之 議員

問 業者や重機の減があり、初めて町で除雪車を購入し、業者に車両をリースすることになった。協力業者に対する施策は。

建設課長 入札資格審査等に重機の台数による点数付加を検討中である。

質疑 伊藤、井田、勢旗、野村、今田、廣野

平成19年度一般会計繰越明許費

平成19年度繰越明許費繰越計算書

(単位：円)

事業名	19年度予算額	20年度繰越額	繰越理由
保育所耐震診断調査事業	1,105,000	1,105,000	耐震判定委員会の判定ができなかったため。
災害に強い森づくり事業	11,600,000	11,600,000	重機搬入路の立木伐採に調査を要したため。降雪により工事が遅れたため(最大60cm)。
明石香河線道路改良事業	20,800,000	20,798,789	改良箇所に発掘調査の必要が生じ、さらに発掘期間、発掘範囲が拡大したため。
明石香河線関連発掘調査事業	7,000,000	7,000,000	
岩屋川線道路改良事業	26,718,000	26,400,000	用地買収に時間を要したため。
石川上山田線道路改良事業	9,700,000	9,700,000	
石川旧府道線道路改良事業	1,000,000	1,000,000	地元との調整に時間を要したため。
寺田水路改良事業	8,600,000	8,600,000	
阿蘇シーサイドパーク整備事業	15,025,000	15,025,000	近接する府道工事との調整に時間を要したため。
合計	101,548,000	101,228,789	

何故遅れた予算の年度内執行

井田 義之 議員

問 予算は年度内執行が原則であり、執行の遅れは次年度に影響する。

多数ある中で例として、次の三点のみ質問する。

岩滝・市場保育所の耐震診断

福祉課長 診断業者は工期内に診断したが、判定委員会の日数が不足した。

問 町道石川上山田線。

建設課長 用地の境界確認で手間取った。

水道課長 2〜3月の積雪のため、土質改良工事を4月まで遅らせた。

今後は年度内の執行に努力する。

専決処分

地方税法の改正による 税条例の一部改正

主な改正点

- ・ 寄附金税制を見直し『ふるさと納税制度』の創設
- ・ 65歳以上の年金受給者に係る年金所得から生じた住民税を、平成21年10月支給分の公的年金から、年金天引き（特別徴収）での納付を実施するもの。

税金の年金天引き 効率化になるか

野村生八 議員

問 国がすすめる年金からの税金天引きは、本当に効率化になるのか。

年金以外の所得がある人は、今まで通りの納付と年金天引きと二本立てになるのでは。自治体にとっては、事務が複雑になるのではないか。

国が決めたからだけではなく、税額は住民が決める権利を守り、自治体の負担も減らすために、国に求めることは必要である。

税務課課長補佐 確かに、別の徴収になる。

納得のいかない 住民税の天引き

畠山 伸枝 議員

問 後期高齢者保険の天引きが、前々年度分の収入からされたため、4月に驚くほどの保険料を引かれた人がある。そこまでして取りやすい所から取るのか。あとで調整して戻るか。同じというが、それは金持ちの発想。住民税の徴収では年金者に

年金天引きは承諾がいるのでは

伊藤 幸男 議員

問 後期高齢者医療保険料の「年金天引き」で不服審査の異議申し立てが全国で起きている。年金は、個人が積み立てたもので、老後の生活費。受給者固有の財産・権利だ。天引き

は個人承諾がいると考える。税のあり方が問われている。
町長 十分な説明があると思うが、利便性から実施したい。

PRが少し地味では

勢旗 毅 議員

問 検索サイトやフリーでは、クレジットカードを使って寄附ができるシステムの提供を始めたところ「ふるさと納税」が自宅までできることで、寄附集めの強力な武器として関心が高まっている。

企画財政課長 今後研究する必要はある。

問 5千円は寄附に算入されないことで、寄附をされた人に特産品等を贈る動きがある。ちなみに伊根町でも海産物や町内旅館の宿泊券を贈られているが本町での考えは。

企画財政課長 現在2件の申出を受けている。特産品等については、地元のPRを兼ねて、本町でも検討したい。



住民の協力こそ町のちから

問 社会保険庁は消えた年金事件以来信用がない。何か間違いがあったとき、どこに行けばよいかわからない。近いうちに社会保険庁は別の組織になるというが。
税務課課長補佐 課税は税務課で行うので、課税額に誤りがあれば役場の税務課で調べる。

問 年金からの天引きには反対だが、国が税条例を改正すれば従わざるを得ない。こんなことで町民を守れるか疑問だが。

町長 難しい問題。

国で決められたことは遵守せねばならない。

しかし議論の段階で国民の声が生かされているかどうかは別。疑問もあると思うが、新しい制度に従うのが原則と考える。

条例改正

難病患者等ホームへ
ルバー派遣手数料の
徴収に関する条例の
一部改正

(改正内容)
利用者負担額の変更

医療・介護の 現場掌握は

伊藤 幸男 議員

問 国の社会保障費削減により、医療や介護等の現場の職員待遇が厳しく、退職や事故が多発。施設の日・夜間の当直体制も深刻な事態だと聞く。管内の現状把握は。

福祉課長 掴めてない。
(賛成全員)

消防団員等公務災害 補償条例の一部改正

(改正内容)
補償基礎額の変更

(賛成全員)

その他の審議案件

請負契約

学校耐震補強工事

市場小学校屋内運動場

4億8221万円

石川小学校校舎

5億8377万円

江陽中学校屋内運動場

5億6235万円

質疑 家城、伊藤、井田、
上山、糸井、今田、
多田、赤松

(賛成全員)

簡易水道

・与謝簡易水道浄水場改
良工事請負契約の変更

土木工事の変更及び交
通整理員等の追加。

契約金額864万円
を874万円に変更す
るもの。

質疑 井田

(賛成全員)

大丈夫か補強後のIS値

井田 義之 議員

問 市場小・江陽中の
体育館、IS値が0.71、
0.73と低い。最近の地
殻変動による大きな地震
に耐えられるのか心配だ。
今一度見直しできないか。

また、積雪荷重は計算
されているのか。

教育次長 国の基準及び
補助対象は、0.7以上
であり震度7弱でも倒壊
は無いと聞いている。

積雪は1.1メートル
で計算している。

**授業への影響
最小限に**

問 昨年石川小体育館は
二学期に利用できなかった。
今年は本校舎、授業
への配慮は万全か。

場合によっては、土・
日曜の工事ができないか。

教育長 騒音など主な工
事は夏休み中に終わり、
心配ない。



安心・安全な耐震補強を

耐震補強後の耐用年数は何年なのか

上山 光正 議員

問 昭和56年以前の建築基準で改築された
提案の学校3施設は、

*市場小学校が、0.38 ↓ 0.71に。

*石川小学校が、0.55 ↓ 0.78に。

*江陽中学校が、0.37 ↓ 0.73に
建物は耐震補強される。

一般的に基礎コンクリートの法定耐用年数
は、30年を境に劣化が急速に進むと認識し
ている。

水素イオン濃度が9以下になると、崩壊
(倒壊)につながるが、水素イオン濃度は
12~13の強いアルカリ性、アルカリ分(何
らかの原因で)消失が中性化(劣化)につ
ながるが、今回の耐震調査でコンクリート
劣化の数値は素人には見えない。

文部科学省が一応の安全基準(IS値0.
70)を目標に耐震工事を実施しているが、
改修後IS値は何年維持できるか。

教育次長 耐震診断は、2次診断まで実施
し、耐震の数値(IS値0.70)を求めている。
診断では、コンクリート(中性化)強度
の中性化試験も条件の中に入れており、求
めた数値でもって耐震補強の改修計画など
を作成している。

校舎の調査は、基礎でなく壁面のコンク
リートの中、4カ所のコア抜き調査をして
数値を求めているので、地中の基礎(中性
化)調査とは意味合いが違っていい。

学説では、コンクリートの厚さ約3cm程
度で約65年を耐用年数としている。

地元業者にもっと仕事を

多田正成議員

問 最近地域経済が疲弊しており、少しでも地域が元気にとの思いから、今回の体育館耐震工事の鋼材から問う。

教育次長 つなぎ梁部材は194×150のH鋼で板厚6mm×9mm。

問 工事の㎡数、板厚基準ではRグレードの範囲ではないか。それなのに仕様書にMグレードが指定してあり、もっと工事内容を精査して地元業者も参加のしやすい施策が必要ではないか。私は粗悪な部材や数の増やす減らすの問題で地元で仕事をと言っているのではない。地元にはMグレードの適応業者が無いと聞いている。入札応募をかける前に工事の内容を精査すればグレードの範囲が広がるのではないか。工事あるいは備品購入にしても担当課はもっと内容を把握し地元業者で努力して頂くように配慮が必要ではないか。

教育次長 設計は実績のある設計会社にお世話になり部材についても設計書に基づきその部材の対応となる。地元にある部材とか、数を増やす減らすはできないのでご理解を。

副町長 判定委員会に基づき指名委員会で検討し3000万以上の工事なので、A級から応募した。

町道路線の認定

路線名 成田団地2号線
内容 延長 45.4m
幅員 5.0m×10.5m
(賛成全員)

人事案件

公平委員会委員
植田宗一(算所)

固定資産

評価審査委員会委員

伊達義明(石川)
前野庄作(男山)

財産の取得

取得財産

消防ポンプ自動車(CD-I型)

1台

取得金額

1753万円

配属先

加悦第二分団

取得予定日

11月14日

契約者

(株)モリタ
(賛成全員)

職員懲戒審査委員会委員

村山和生(三河内)
北風雅雄(加悦奥)
大下修(岩滝)

教育委員会委員

今西藤美(算所)



新たな備え消防車

陳情書・要望書

三月議会以降、与謝野町議会に寄せられた陳情書や要望書は次のとおりです。

● 過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情書

▼ 提出者 合資会社緑源代表 諸 百合子

● 非核・平和施策に関する要望書

▼ 提出者 2008年原水爆禁止

国民平和実行委員会

代表 岩橋 祐治

● 原爆症認定制度の抜本的な改善を求める意見書採択のお願い

▼ 提出者 国民平和実行委員会

[質問議員と内容]

四川省地震の教訓をどう生かすか？
服部 博和 議員

世代継続する地震に強いまちづくり
多田 正成 議員

地域循環型経済の構築
赤松 孝一 議員

問題の多い税務共同化は慎重に
畠山 伸枝 議員

まちづくりの推進役は職員では
伊藤 幸男 議員

黒塗り高級公用車をやめては
有吉 正 議員

景気回復、行政がやるべきこととは
家城 功 議員

役場に挨拶・笑顔・元気・やる気
谷口 忠弘 議員

この不況は尋常ではないと思えるが
勢旗 毅 議員

合併後のまちづくりは
今田 博文 議員

アレルギー疾患対策の取り組みは
浪江 郁雄 議員

温暖化防止へ大間伐で森林保全を
野村 生八 議員

光 F 敷設・通信部門は民営を要望
小林 庸夫 議員

下水道特別会計・維持管理基金を
井田 義之 議員

6月定例会は14人が質問しました
ここが聞きたい

四川省地震の教訓をどう生かすか？ 学校の耐震化を急ぐ



服部 博和 議員

副市長 いいかげんな業者
ではない。
他の設計士にチェックしてもらった必要があると思うが？

晴天の霹靂だ。
当然本校舎もこの業者が診断しており、このような業者の言いなりになっていて、本当に大丈夫なのか大いに疑問だ。
その設計士にチェックしてもらった必要があると思うが？

問 学校の耐震が順次行われている。しかしその耐震診断に対し、理解しづらい問題が生じている。加悦中学校の耐震診断において、委託業者から建設当時の設計図に図示されているはりが、現建物には入っていない。「手抜き工事だ」と議会に報告して来た。そのため屋根を切開してはりを5本入れなければならぬので、1億4000万円もの多額な費用が必要とのことであった。
石川小学校の約4倍、桑飼小学校の約8倍もの額である。
また新聞社が記事にしたため、動揺は、大きなものがあった。また、統合問題も浮上してきた。このような事態を尻目に業者より、京都府の指導を受け再調査した結果、はりは最初から入っていない設計であったと、正反対の回答を寄せてきた。まさに、晴天の霹靂だ。



加悦中体育館



赤松 孝一 議員

地域循環型経済の構築 産業振興計画で検討

問 総合計画の重点施策「創ろう・つなごう循環型の経済」の具現化を問う。

町長 生産者の努力（自助）消費者の理解（共助）商店の努力・協力（商助）がなければ成立しない。

100%町内消費 推進の町

問 町内で調達できるものは、日常生活必需品・食料・建設工事・農産物等、これらの消費は官民問わず町内業者で賄う。その啓発に懸垂幕・看板・ポスターを作成して浸透を図る。

町長 消費者意識の転換や消費者に応えられる商店、事業所の確立が図れなければ実現しない。

地域活性化会議の設置

問 従来の団体の長を集める手法でなく、一般公募を主として町内外から人材を集結して、「生き生き実戦部隊」の設置を提案する。

町長 地域活性化会議を今すぐ立ち上げる考えはない。産業振興計画の委員会を十分に機能させ、人材発掘に努める。



地域経済は地産地消から

まちづくりの推進役は職員では 町職員は財産。職員との信頼関係構築を強める



伊藤 幸男 議員

問 政府は構造改革による公務員制度改革で「成果・評価主義」導入を進めている。問題は評価を誰がどうするのかだ。

この成果・評価主義を導入した企業では、個人目標が優先され、職場内の信頼関係が崩れるという重大問題が起き、大企業でも、すぐに見直し変更をしている。全国各地のまちづくりで成功している町では、職員集団を重要な担い手と位置づけている。まちづくりの上で、労使関係も民主的で開かれたものがあると思う。

町長 まちづくりの上で、町職員との協力関係を強めることが重要。評価主義は人材育成のため。

社会保障財源はある

問 消費税ができて18年間、国庫に入ったのは190兆円。この間、大企業など法人3税の税率が12%も下げられ、その減税額160兆円。言い換えると大企業のために使われたことになる。「社会保障の財源を消費税増税で」と自民・公明・民主の各党が言い出した。消費税増税を、町長はどう考えているのか。

町長 消費税増税されると地域購買力を低下させる。十分な国民的な議論があると思う。



期待される福祉行政

景気回復、行政がやるべきこととは 国・府への要望は勿論、地域の声も聞く

問 景気が厳しい中、地域業者と行政の関わり方を見直すべきでは。今までのやり方を改善することも行政の役割。例えば、町で買える物は町内のお店で。町内の企業でできる仕事は町内の企業に発注すべきでは。

町長 キッチリと理由のつく中で、できるだけ公平な形をしていくきめ細かい対応が必要と思う。

指名業者の見直しを

問 町内業者を守るために、指名業者のランク付けは、地域貢献度を重視するなど、見直しが必要では。



自転車道の防犯対策を



家城 功 議員

要では。また下請け制度も緩和し見直すべきでは。

町長 平成20年度の除雪協力から、加算内容を変更する予定。除雪協力以外も加算項目を研究する予定。下請けは、今のところ見直ししない予定。

防犯対策の早期実現を

問 自転車道は中高生の通学路であり、町民の方の健康維持増進の場でもある。不審者や変質者の情報も多く、府補助金等活用し、防犯対策や環境整備の早期実現を。

町長 京都府の新規事業にLED（発光ダイオード）歩道照明事業が創設された。沿線の住民や農地に影響のないよう関係者と調整をしながら早期設置に努力する。

この不況は尋常ではないと思えるが 長期的な視点での雇用創出を図る



勢旗 毅 議員

問 町内の経済環境は非常に厳しい。緊急不況対策の取り組みが必要では。

町長 他の市町とも連携し、国に要望したい。

暮らしの資金見直しを

問 一人5万円という貸付基準の見直しは。

町長 返済に苦慮されるケースもあって、現在の基準としている。

新たな戦略が必要だ

問 クアハウスの運営状況は非常に厳しい。

クアハウスは、国の指定を受けた温泉を活用した保養施設であり、健康を基本に据えた戦略で外からの利用者が増えるような再生計画をたてるべきと考えるが。

町長

今年度は社は社協に委託し、介護予防事業で利用の拡大を図りたい。現在、指定管理者制度導入について検討している。



クアハウスの再生は

地域協定で 国に要望を

問 中山間地直接支払い制度は、ヨーロッパ型の政策として、集落でも大きな成果が上がっているが、ここにきて

地域の後継者が新規に住宅用地を求めても、協定違反で補助金の遡及返還が必要とことが判った。制度全体を見直しながら改善要望の必要がある。

町長 この制度の効果は大きい協定地内では厳しいペナルティがあり、改善要望を強めたい。

アレルギー疾患対策の取り組みは 健診後の個別相談や、情報提供を行っている



浪江 郁雄 議員

問 最近非常に多くなつた花粉症を初め、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、そして

気管支喘息を代表とするアレルギー症状は、今や国民の3人に1人といわれ、現代社会における国民病とされ、その症状は、近年急速に重症化し、そして複合化し、治りにくいとさえ言われている。当町におけるアレルギー疾患の実態は。

町長 乳児健診では21%。中でも重い症状であるアナフィラキシー

を起こす子ども達は。

町長 町全体では不明だが、健診では1名把握。

問 学校での対応と、基本的な方針は。

教育長 有病率は、小学生21.5%。

中学生20.2%。幼稚園18%と、全国平均より若干低い、2割以上の子



給食にも配慮

ども達がなんらかのアレルギーを持ち、苦しんでいる現実を重く受け止め、保護者や医療機関と連携をとり、環境整備や様々な配慮や取り組みを行っている。

問 食物アレルギーへの対応は。

教育長 保護者と入念な打ち合わせ

をし、センターも学校からの全データをとり、特別の給食を提供している。

光F敷設・通信部門は民営を要望 セキユリテイ部門も検討する

問 TV放送の地デジ化にむけて岩滝・野田川地区への光ファイバー敷設に巨額の投資資金が必要とのことであるが設備と管理運営面は。

町長 民間での敷設は難しいので公設です。基本的には加悦町スタイルを基準に公設公営を検討しているが、通信部門の民営も専門家の意見を聞きながら充分検討したい。

京都府税務共同化事業

問 与謝野町にとって税関係の課題はなにかと考えるとき、滞納分の徴収と滞納しなくてもいいような経済力の底上げが一番大きな懸案事項と思う。課税・徴収事業は町財源の根幹をなすものと

いえるだけに経費削減とは申せ、他機関にゆだねることが果たしているものか。町民にしてみれば上下水道料・介護保険・町営住宅・有線TVなどの使用料も、税とは名はつかなくとも税に準ずる思いで納付されていることから理解を得ることが必要。まずは滞納徴収に力点をおいた組織でスタートすべきかと思うが。

町長 徴収業務一本化で徴収力の向上が期待できること、収納窓口の一元化など利便性は高められる。課税権は首長にあり町の独自性は保てる。



有線テレビスタジオ



小林 庸夫 議員



未来に期待を



多田 正成 議員

世代継続する地震に強いまちづくり 更なる災害に強い安心安全な町づくりをする

問 一般的には耐震診断に対する知識や意識が薄い耐震診断の基礎知識を大人と子ども達とが同時に学ぶことによって共通の話題が生まれ、大切な命や財産を守る心が強く育つのではないかと。決して風化させてはならない危機管理意識を「耐震診断授業」の取り組みによって学び世代継続する地震に強いまちづくりができるのではないかと。

町長 次世代を担う子ども達の貴重な命を守ると共に防災意識の高い人材を育成し社会や地域全体の防災力を高める為に大変重要であると考えている。

子ほめ条例の制定から

問 与謝野町を特徴づけ当町を知って頂くために「子ほめ条例」を制定し、全国の子ども達をほめ称える町にしては。そのために例えば与謝蕪村の命日に合わせ俳句、短歌など募集し優秀作を顕彰していけば子ども達の励みにもなり当町が全国で子育ての町にもなる。そしてその子ども達が大人になって必ずこの町を訪ねてくる。

町長 思いは十分承知している。方法は別としてそうした子ども達を励まし育てていく、そのことによって町が元気になることが大事だと考える。

問題の多い税務共同化は慎重に 信頼される組織作りに努力する



畠山 伸枝 議員

問 府内の市町村が共同で税の課税と徴収をするというが、異論が続出していると聞く。

全国で共同化をしているのは静岡県が徴収だけ。課税権は町長にあるが最後まで守ることができているのか。

町長 まずは徴収業務から早期滞納整理など効率的にやっていく。適正な課税と確実な徴収で、公平公正な税務行政の確立をめざしたい。課税の権限を留保しつつ共同化をしようとするもの。

問 今年度予算は380万円だが、ランニングコストは。

町長 準備段階での費用が380万円。組織や職員配置など明確でないの



課題の多い税務課

問 で、まだわからない。滞納している人の中には暮らしが大変で、福祉課と相談が必要なものもある。分納や延期などの相談もしくくなるのでは。

町長 機械的に徴収をやりこなせばいいというものではない。納税者の事情も考えて柔軟な対応も必要だと思つた。急いで行うべきではないと考えるが。

町長 問題を解決しながら進めていきたい。

黒塗り高級公用車をやめては 更新時に、より環境に優しい車に



有吉 正 議員

問 行財政改革と地球温暖化対策の一環として、燃費のよい車に乗り換え

ては。

町長 自動車メーカー

ーでは、ハイブリッドカーに代表される環境に優しい車の増産を行なうと聞いている。価格面でも安くなると思う。時期を見て判断。

機業跡地の有効利用

問 企業誘致の候補地と位置づけられているが、見通しはどうか。

町長 一件話しはあったが残念ながら白紙とな

った。この土地を企業誘致の候補地と位置づけたことで、隣接する元岩屋保育所跡地も対応できるよう販売価格も一定整理している。

問 長野県下條村では総務

省の「頑張る地方応援プログラム」の交付金で、村営住宅建設など若者の定住を図っておられる。町有地にしなないと真剣みがわか



活用が待たれる機業跡地

ないのではないか。具現化するまでは地元グラウンドゴルフ場として貸されたらどうか。

町長 いろんな形で、いろ

んな手立てを打っていかないと、人口を増やすことは難しい。そうしたことを取り入れた前向きな施策を考えていきたい。

役場に挨拶・笑顔・元気・やる気 提案を十分検討したい



谷口 忠弘 議員

問 役場に行くが挨拶がない笑顔が

少ないとよく聞く。日常習慣づくようトレーニングが必要では。また庁舎内に静かな安らぎを覚える音楽を流してみてもいい。

町長 笑顔での挨拶、親切な対応は重要なことだ。提案を検討してみたい。

問 日々仕事をするなかで、職員

の資質向上策は、私の提案として、各課各事業別に予算編成上の数値目標があるはずである。年度末に、その達成率を事業別また各課別に公表したらどうか。

町長 総合計画のなかではベンチ

マークとして考えているが、今後の検討課題としたい。



親切な対応

問 職員の中に、今の年功序列の給

与体系に疑問をもっている人が多く、また何らかの評価制度を設けるべきだといっているが。

町長 職種上評価の基準を設けるこ

とがむずかしい。

問 職員のスキルアップ(技術向上)と同時に協働による町づくりの観点からも私の提案が必要と思うが。

町長 思いは同じであり努力していきたい。

合併後のまちづくりは 総合計画を着実に推進していく



今田 博文 議員

問 平成17年をピークに、人口の減少が懸念されている。やがて来る超高齢化社会への対応策は。

町長 子どもの医療費無料化など、子育てしやすい環境づくりに取り組む。高齢者を家族だけで支えることは困難。介護予防拠点の整備を進める。

合併効果の発揮を 合併の効果は、行政体制の整備。この機を捉え改革することにある。

町長 住民ニーズを汲み取った施策を展開する。町営バスの運行、有線テレビの推進、阿蘇海的环境改善に取り組む。

予算減で負の思考では

問 行政改革に取り組むことは大事だが、歳出カットに目がいきマイナス思考になつてくる。

町長 予算減額の中、これまでの事業が縮小・廃止となるなどマイナス思考のよ



今後の行政運営は

うに捉えられがちだが、楽観的なことばかりを吹聴して財政が破綻してしまつことは絶対に避けなければならぬ。

産業・雇用の確保を

問 住民アンケートによると、新たな産業興しと雇用の確保に強い要望がある。

町長 観光やサービス業などの必要性は感じている。観光振興ビジョン、産業振興計画を策定していく。

温暖化防止へ大間伐で森林保全を みんなの森づくりを推進する



野村 生八 議員

問 森林の保全は、環境を守る最も重要な課題だ。

町長 森林の保全は、環境を守る最も重要な課題だ。間伐率を大きく引き上げ大径木の人工林を育てることは、経営として成りたつ林業にし、保水力を保つた森林を育てることになるのではないか。

また森林の保全で、地球温暖化防止の取り組みも進められる。

森林の保全を長期的にすすめる。「森づくり条例」の検討も求める。

町長 総合計画では、間伐率を20%から30%へ、伐採期間を50年から100年近くに大幅に引き上げ大径木を育成するとしている。このことで、下層空間に針葉樹・広葉樹を育て、水や土の保全機能や生物の多様性をもたらす、野生鳥獣の生息環境や景観に配

慮した森林づくりを推進していく。林業として高収入が得られ、公益的機能を持つ「みんなの森づくり」を推進する大径木の取り組みを進めていく。

町では広葉樹支給事業などを進めているが、今後森林ボランティア活動をすすめる、地球温暖化防止の意識向上をすすめる。

「森林環境税」の創設や「森づくり条例」を制定しすすめることも一考と考える。



森に光を

一般質問 ここが聞きたい!

下水道特別会計・維持管理基金を 危惧もあるが積み立てる余裕がないのが現状



井田 義之 議員

問 赤字再建団体を未然に防ぐため、地方財政健全化法が昨年6月に施行され、特別会計も含めた数値が判定の基準とされる。

当町は下水道の地方債が一般会計より多い。

供用から15年経過した施設の維持修繕の財政計画がない。基金を積立対応する考えはないか。

町長 維持管理費の増大は非常に危惧しているが、一般会計からの繰り出しが増大する。下水道への接続に協力をいただき、収入増加に最大限努力する。

自転車道9時まで照明

問 野田川駅に4月から駐輪場が設置された。次は夕方の安全確保のため心やすらぐ、青色防犯灯の設



発光ダイオード

置が急務ではないか。

町長 必要と認識。府に強く要望する。

散歩の利用者も多い

問 ベンチの設置必要。

町長 地元管理で、適地があれば府に要望したい。

亀山大宮線 川上まで

問 現存の農道をライスセンターまで拡幅し、室ノ木農道に接続を。

町長 川上地区への道が一本しかなく、迂回路として必要認めるが香河川の橋梁もあり、財政厳しく早急には無理がある。

区の要望 下地堂谷線

問 通学路を兼ね一定整備されたが、国道までの完成が必要だが。

町長 必要性も費用対効果も認められない。

お知らせ

9月定例会の予定 (傍聴に来て下さい)
招集日: 9月2日
一般質問: 9月11日・12日・13日

用語の解説ページ

- ※**繰越明許費** P6
歳出予算の一部を、理由により年度内に支出を終わらない見込みのとき、翌年度に繰り越して使用できる経費。
- ※**ふるさと納税** P7
出身地等の地方公共団体に寄附することで、地方を応援する制度。納税額の10%以内で5,000円を超えた金額が所得税と住民税から控除される。
- ※**IS値** P8
耐震診断では建物の強度や粘りに加え、その形状や経年状況を考慮した耐震指標。IS値が0.6以上ある建物は、震度6強程度の大地震に対しても、倒壊する危険性は低いと考えられている。
- ※**指定管理者制度** P12
公の施設の管理運営に民間の能力を活用しつつ経費の節減等を図ることを目的として、一定の期間を決め民間業者やNPO等と協定を結ぶ制度。
- ※**アナフィラキシー** P13
抗原抗体反応の一つ。ある抗原で免疫を得た生体が、同じ抗原の再投与に対してショック症状などの過敏な反応を示すこと。
- ※**地方財政健全化法** P17
一般会計、特別会計、事務組合等、町財政に影響を与えるすべての会計を将来の見込みも含めて算定し、議会及び住民に明らかにし、赤字債権団体転落を未然に防ぐことを目的とした法である。

平成20年度加悦保育園は、幼児81人・3歳未満児20人合計101人でスタート。6月には3人のお友達が増え、104人の元気な子ども達の声が園内に響いています。たくましい体と豊かな心を育てることを目標に、戸外で元気に遊ぼう・仲良くしよう・話をしっかり聞こう・早寝、早起き9時7時朝食とって朝うんち・・・を子ども・保護者・保育士と共に歩むことで、保護者と連携をとりながら頑張っています。園にはのりものコーナーがあり、三輪車・二輪車・レーシングカー等でルールを守りながら遊んでいます。芝生にはバツタ、かまきりの赤ちゃんがいっぱい生まれ、子ども達は手や腕にのせて楽しんでいきます。また、ツバメの巣にツバメとスズメの赤ちゃんが生まれ、親鳥が交互に餌やりに来て、ほほえましい姿をみせてくれています。7月8日にはプール開き。大好きな水遊びで水しぶきをあげ、子どもたちの歓声が響きわたります。



加悦保育園 の紹介



まちの宝 子どもページ



岩屋保育所 の紹介



岩屋保育所は、園児数34名と少人数なので、いつも大きい子が小さい子と一緒に遊び、やさしく面倒を見てくれる、とても家庭的な雰囲気のある保育所です。自然に恵まれ、近くには雲岩公園があります。保育所の裏ではモリアオガエルが卵を産み付けおたまじゃくしがたくさん生まれたり、やごがトンボに孵ったりする姿も見られます。また、駐車場の下の畑では地域のおじいちゃん達に教えてもらって色々な野菜を育てています。収穫したカボチャやスイカは、子ども達が抱えて急な土手を登り保育所まで運びます。豊かな自然に囲まれ、のびのびとした環境の中で、様々な体験を通し、心も体もたくましく、思いやりのある子どもに育ってほしいことを願っています。

編集後記

▼今回の発行から新メンバーが担当します。皆さんにできるだけ早くお届けできるように編集作業に頑張りたいと思います▼議会の機能は、執行機関と互いに独立した関係に立ち、チェック・アンド・バランスの作用により「住民の利益」を行政に反映させる役割があります▼これからの町づくりは住民の皆さんとの協働がなければ新しい与謝野町をつくることはできません▼議会へのご意見などをお寄せください。(記 今田)

委員長 今田 博文
副委員長 有吉 正

野村 生八
井田 義之
糸井 満雄
勢旗 毅
多田 正成

